

# こすもす

# 2016 冬号



発行・編集：社会福祉法人熊本県手をつなぐ育成会 熊本こすもす園  
 所在地：〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1786  
 電話：0964-33-4551 FAX：0964-33-4552  
 ホームページ：http://kosumosuen.com/

## ★こすもす秋の大感謝祭★



平成28年11月23日(水)に「こすもす秋の大感謝祭」が行われました。天候が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ多くの方に足を運んでいただきました。ステージイベントや食品バザー、フリーマーケット、大抽選会など大盛況でした。また、利用者の皆さんがステージでフラダンスや創作ダンスを披露しました。

今回の感謝祭は、家族の会、ボランティアを始め、ステージ出演者、バザー出店者など多くの方のご協力で開催することができました。心より感謝いたします。

4月の熊本地震から約8カ月が過ぎました。まだまだ余震が続いており、復興には時間がかかりますが、少しずつ元の姿に戻ろうとしています。今後とも熊本こすもす園をよろしくお願いいたします。

## はたらき隊 絶好調！！



平成25年から始まった「はたらき隊」は、おかげさまでたくさんの依頼を受け、宇城圏域を中心に活動をしています。

「はたらき隊」は除草作業や洗車、引っ越しのお手伝い、肥料詰めの農作業などを行っています。今年は、倉庫や食品会社などの作業にもチャレンジしました。

「はたらき隊」は依頼があれば駆けつけますので、ぜひお問い合わせ下さい。

### 就労継続支援A型事業所



就労継続支援A型事業所『ハリウッド』の『からあげ聖林(ハリウッド)松橋店』です。

当店は12月10日で5周年を迎えることが出来ました。これもひとえに支えていただいた多くの方々のおかげと感謝に堪えません。思えば、この5年間、利用者さん、職員ががむしゃらに頑張ってきました。その甲斐もあって、今では毎日とても忙しい日々を送っております。

お店をやっていくということは、お客様第一ですし、売上を上げるだけでなく、利益を出さなくてはなりません。そのためにはいろんな経費を節約していく必要があります。そこに障がい者施設であるという甘えや言い訳は通用しません。時には、厳しく口やかましいことも言いますが、みんなよく頑張ってきてくれたと思います。ほとんど休むことなく通ってきてくれます。

先日、12月11日には記念イベントとしてから「からあげ詰め放題」を実施し、たくさんの方々がご来店くださり、大盛況となりました。

聖林本店からは社長もお手伝いに来ていただきました。

今後とも、「からあげ聖林松橋店」をよろしくお願いいたします。

熊本県宇城市松橋町豊福225-1

TEL: 0964-34-3339



### 販売会

1月20日 びぶれすホットハートマーケット  
お時間がありましたら

ぜひお立ち寄りください！



### お知らせ

- 1月11日 生活介護 新年会・成人祝い(華月園)
- 14日 どんどや
- 28日 生活介護 DVD鑑賞  
就労支援 新年会(うえだ屋)
- その他各月 事業所ごとにレクリエーション
- 毎月 全体会・嘱託医診察・歯科往診  
27日工賃支給日



生活介護

宇城市障がい者スポーツ大会

こすもす園横の体育館サンアビで行われたスポーツ大会に参加しました。久しぶりにたくさん体を動かして気持ちの良い汗をかきました！



旅行に行きました☆

9月27～28日、1泊2日で行吉、水俣旅行に行ってきました。1日目は人吉の世界遺産、青井阿蘇神社を参拝したり、宿泊先である清流山水花あゆの里で温泉に入ったりしました。2日目は水俣のスペイン村でおいしいパエリアをいただき、お土産を購入しました！



クリスマス会&忘年会

12月8日ホワイトパレスで少し早めのクリスマス会&忘年会をしました。O×クイズやプレゼント交換をしながら今年1年を振り返りました。



就労支援事業所

鹿児島旅行

10月28～29日鹿児島旅行に行ってきました。平川動物園でかわいい動物を見たり鹿児島発祥のかき氷「白くま」を食べたりして楽しい2日間を過ごしました。来年も楽しみです。



宮田農園でピザ作り体験

毎年人気のピザ作り！生地作りから始まりトッピングをして大きな窯で焼いて食べます。ピザの他にもクッキーやパンも作ります！自分たちで作ったものはと～ってもおいしいんです！



ひなたまこっこでBBQ！

今年初めてのひなたまこっこでBBQ!!それぞれグループに分かれてお肉や野菜を焼きました。お腹いっぱいになりましたが食後にかき氷もいただきました。お土産も購入して大満足の1日でした。



今年も作業やレクリエーションなど充実した1年間でした。来年も今年以上に利用者みなさんに楽しんでいただけるよう頑張ります！

『やおいかん』

施設長 中嶋 喜代士

「やおいかん」、これは30歳代のある男性利用者さんの口癖である。若い世代の人には最近あまり使われないようであるが、御承知のように「大変だ」、「難しい」、「簡単ではない」などの意味を表わす熊本弁である。言っている利用者本人は、その意味のごとく本当に大変だというような声と表情で言われるが、その言葉自体を会話、コミュニケーションのきっかけとして使っておられるようでもある。いつも聞いている職員は何がやおいかんのかよくわからないが、聞くたびにその意味とは反対に心なごむ気分になる。「やおいかん」と言えば、熊本地震災害の復旧、復興である。あの地震からすでに8か月を経過したがまだまだ手付かずのブルーシートが目立ち、道路や橋も未だ復旧していないところが多く残っている。特に阿蘇方面への道路は寸断されており通勤、通学等日常生活に相当な支障が出ているようである。毎日、熊本市東区から松橋のこすもす園まで高速道路を利用し通勤しているが、地震の影響で高速道路もかなりの被害を受けている。至る所に亀裂で凹凸があったり、路面が上下にうねっていたりするところもあり、ちょっとスピードを出して走っているとジェットコースターに乗っているようになる。現在、急ピッチで復旧作業が行われているが完全復旧にはまだ時間がかかりそうである。あの日以来高速道路が低速道路になってしまっており、朝夕の通勤時間帯は特に渋滞が激しくなる。ミルクロードを通過して阿蘇方面へ通勤する人のことを思えば贅沢は言えないが、毎日の通勤も「やおいかん」状態である。熊本こすもす園における事業運営においても利用者の高齢化、重度化対応や就労支援での工賃アップの問題等々「やおいかん」ことはいろいろある。大変そうだからやらない、面倒だから現状のままでいいと言って何にも取り組まないのでは前進はなく改革はできない。どのような事業でも前向きに取り組んでこそ「やおいかん」という言葉が出てくるのであって、何もしなければ「やおいかん」という言葉は出てこない。何事も「やおいかん」と言いながらも地道に取り組めば着々と前進する。「やおいかん」大いに結構である。「やおいかん」が口癖の利用者さんは、「やおいかん」と言いながらも毎日元気に活動しておられます。

12月23日もちつきをしました！

